



回覧

フードドライブを実施中

ご協力おねがいします

実施期間 令和8年1月4日～1月31日



○ フードバンク/フードドライブってなに？

フードバンクとは品質に問題ないものの、やむなく消費することができなかった食品を無償で提供していただき、生活にお困りの方へお渡しする活動です。

フードドライブ は、一般家庭を対象に、ご家庭に眠っている食品を寄贈していただきフードバンク活動に活用してもらうための食品寄付運動です。社会福祉協議会では認定NPO法人フードバンクふじのくにに協力して毎年1月と8月に西伊豆町内4地区にフードドライブボックスを設置し、食品の寄付を募っています。ご家庭で余っている食品等がございましたらご協力くださいますようお願いいたします。

■ 回収している食品

賞味期限が2026年4月以降の未開封で常温保存できる食品

レトルト・インスタント食品・・・カレー、丼のもと、スープ、インスタント味噌汁、パスタソース、ふりかけ、おかずの素等

乾麺・・・カップ麺、インスタント麺、スパゲッティ、マカロニ、うどん、そば、そうめん等
缶詰瓶詰類・・・ツナ缶、サバ缶、さんま缶、焼き鳥缶などのおかず缶詰、サケフレーク、そばろ、なめたけ、佃煮などの瓶詰類

お菓子・・・※アルコール分を含む菓子類は受取対象外です。

お米・・・精米、玄米 ※もみ殻付の米は受取対象外です。

■ 回収できない食品

・賞味期限が記載されていない食品、開封済みのもの、日本語表記がないもの、みりん・

お酒・ビール・ワインなどアルコール分を含む飲料や食料品、健康食品/介護用食品/サプリメント/もち米/防災用保存水等

■ 食品回収ボックス設置場所

仁科：役場本庁入口

田子：田子公民館

安良里：西伊豆町中央公民館

宇久須：住民防災センター



認定NPO法人
フードバンクふ
じのくにの
富士山のおにぎ
りマークが
めじるしです

問合せ 社会福祉法人西伊豆町社会福祉協議会

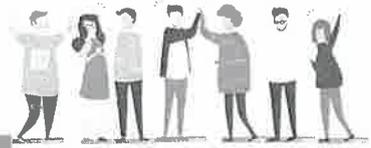
電話 0558-55-1313

※フードバンクの食品提供を希望される方はご相談ください



サポーター 募集

フードバンクふじのくにでは
活動を支えてくださる
サポーターを広く募集しています。



賛助会員

事業の性質上収入が生まれるものではないため、皆様のご寄附が頼りです。
私どもの活動にご賛同いただける方はぜひお願いいたします。

個人賛助会員		団体賛助会員	
入会金	0円	入会金	0円
年会費	2,000円(一口)	年会費	5,000円(一口)

寄附金を募集しています！

寄附をいただける方は下記連絡先までご連絡下さい。

QRコードより寄付することができます→



※認定NPO法人に寄附をした個人 法人は税制上の優遇措置を受けることができます



認定NPO法人 フードバンクふじのくに

〒420-0856
静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館1階
TEL 054-270-7301/FAX 054-270-7302
URL <http://fb-fujinokuni.org/>
mail info@fb-fujinokuni.org



回覧



これまで大好評の「フロバレーボール公式戦観戦ツアー」
〈大同生命 SV リーグ〉今年も実施いたします。

東シアローズ静岡 vs ウルフドッグス名古屋

令和8年2月15日(日)14:05start

●貸切バス : 西伊豆発 会場着 公式戦試合 会場発 西伊豆着
9:00 ⇒ 12:15 ⇒ 14:05 ⇒ 17:15 ⇒ 20:15

※貸切バスの乗降場所は役場(本庁・支所・出張所)となります
※自家用車希望の場合は各自で駐車場の確保をお願いします

●会場 : 静岡市 草薙総合運動場体育館 (このはなアリーナ)

●対象定員 : 西伊豆町民の方 45名
※応募者が多数の場合は新規の方を
優先させていただき、その後抽選となります。

●参加料 : 無料

●申込み方法 : オンライン申請での申込みとなりますので
右記 QR コードからお申し込みください

こちらの
QRコードから



<申込みフォーム> <https://logoform.jp/form/pjH5/1387838>

申込み期限: 令和8年1月15日(木)~令和8年2月3日(火)



【問合せ先】

西伊豆町教育委員会 社会教育係 Tel.0558-56-0212

E-mail shakaikyouiku@town.nishiizu.lg.jp

※ 裏面「町民買い物ツアー」参加者募集あり

町民買い物ツアー 参加者募集

「自分の運転では、遠方まで買い物に行けない。」「運転できないから町外に買い物に行けない。」そんな方を対象に、買い物ツアーを実施します。

普段、行くことができない大型ショッピングモールで買い物を楽しんでみませんか。



日時 令和8年2月15日(日)

往路 役場発 このはなアリーナ(静岡市)経由 マークイズ静岡買い物
8:30 → 11:45頃 → 12:15頃

帰路 マークイズ静岡発 このはなアリーナ(静岡市)経由 西伊豆町役場着
16:30 → 17:15 → 20:15頃

※ 東レアローズ静岡公式戦の観戦ツアーのバスに同乗となります。

バスの乗降場所は、役場(本庁8:30・田子出張所 8:40・
安良里出張所 8:45・宇久須支所 8:50)です。

場所 マークイズ静岡 (静岡市)

人数 西伊豆町民の方 20人

※応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

参加料 無料

申込 電話(0558-52-1111)

申し込み期限:令和8年1月15日(木)~令和8年1月30日(金)

注意

○徒歩で移動を行う場所があります。歩行が困難な方は、十分ご検討をお願いします。

○帰路は、バスでの待ち時間が30分程度あります。

○買い物は、マークイズ静岡のみとなります。マークイズ静岡からの移動はできません。

お問い合わせ

まちづくり戦略課まちづくり戦略係 0558-52-1111

回覧

賀茂地域糖尿病等重症化予防講演会



食事で守る **血糖** と **血圧**

令和8年2月17日 (火)

13:30~ (開場13:00)

講師：中北薬品株式会社

管理栄養士 安達 美奈都 氏

市販品に一工夫で
美味しく減塩!

会場：西伊豆町保健センター2階会議室

(西伊豆町仁科395)

対象：西伊豆町・松崎町の町民 **参加費無料**

来場者特典

希望者にインボディ測定・骨密度測定・血圧測定を実施します。

※13時~13時20分まで

申込：西伊豆町健康福祉課 ☎52-1116

松崎町健康福祉課 ☎42-3966

※土日祝日を除く 8:30~17:00

申込締切：令和8年2月10日 (火)



第45回「静岡音楽祭」参加者募集

西伊豆町自衛隊協力会では、静岡県防衛協会主催の「静岡音楽祭」の参加者を下記のとおり募集します。

観覧をご希望の方は、下記申し込み方法によりお申し込みください。

記

- 1 日時 令和8年2月21日(土) 14:00～17:30予定(13:00開場)
- 2 場所 富士市文化会館ロゼシアター 大ホール
- 3 行程(予定)
 - 【行き】 役場前(10:00 発)⇒田子公民館(10:10)⇒大田子バス停(10:15)
⇒浦上バス停(10:20)⇒中央公民館(10:25)⇒バイパス宇久須バス停(10:30)
⇒会場(13:00 着)
 - 【帰り】 会場(18:00 発)⇒駿河湾沼津SA(18:30～19:00) 夕食
⇒役場着(21:00頃)
- 4 募集人員 参加人員は35名を予定しています。
応募者多数の場合は抽選とさせていただきますので、ご理解のほど宜しくお願いします。
- 5 参加費 1,500円/人(当日乗車前に徴収します。) ※昼食付
※夕食は、SAにて各自でお願いします。
- 6 申込方法 本庁、田子・安良里出張所、宇久須支所の窓口に申込用紙を用意してありますので、必要事項を記入し、各窓口に提出してください。
※電話での申し込みは、お受けすることができませんのでご了承ください。
※原則として個人単位の申し込みとさせていただきます。
「〇〇さんが外れたら辞退する」という場合には、申込用紙下部の記入欄に記入してください。
- 7 受付締切 令和8年2月4日(水)まで
- 8 問合せ先 西伊豆町役場 防災課
防災安全対策係(自衛隊協力会事務局)
電話 52-1965(FAX:52-1906)



(町)月の浦井田子線拡幅工事の進捗について(お知らせ)

平素より本町の土木行政に御理解と御協力いただき、誠にありがとうございます。

現在実施しております月の浦井田子線拡幅工事につきまして、当初では令和8年3月末完成の予定で進めておりましたが、起点側の法面保護の処理に想定外の時間を要したことにより、完成期日を令和8年6月末までに延長させていただきます。

近隣の皆様には引き続き御不便、御迷惑をお掛けしますが、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

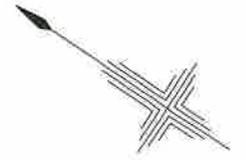
- 1 工事名称 令和7年度 社会資本整備総合交付金事業
(町)月の浦井田子線拡幅工事
- 2 変更完成予定日 令和8年6月末
- 3 現在の進捗状況 令和8年1月末で約50%
(延長100.73mの内、53mまでボックス敷設予定)
- 4 今後の予定 別紙図面のとおり(裏面を参照してください)
- 5 その他 令和8年度施工区間の地元説明会を、2月に行う予定です。

担当 建設課建設係
電話 0558-55-0212
FAX 0558-54-6004
Mail kensetsu@town.nishiizu.lg.jp

裏面に図面があります

【今後の工事進捗予定】

平面図



令和7年度施工区間 延長 L=100.73m
 No.0.00~No.100.73 (松田さん宅から近江屋商店付近まで)

令和8年1月末まで
 ボックス敷設工 L=53.0m

令和8年3月末まで
 ボックス敷設工 L=29.0m

令和8年6月末まで
 ボックス敷設工 L=18.0m
 As舗装工
 付帯工事ほか



昔の道具・写真 ありませんか？



昔、生活に使っていた物、懐かしい物



農作業に使っていた道具



漁に使っていた物



昔の写真、風景や祭り、人物

西伊豆町文化財保護審議会では、昔使われていた民具・漁具・農具や、昔の写真を集めています。

ご自宅の物置や押し入れなどに、「これ、昔のものかも？」という品がありましたら、ぜひ 西伊豆町教育委員会までご連絡ください。

こちらからお伺いします。

【連絡先】 西伊豆町教育委員会 山本 TEL 0558-56-0212

西伊豆町文化財保護審議会 会長 浅賀文吉

令和7年度 コミュニティ活動賞

静岡県コミュニティづくり推進協議会主催の本年度「コミュニティ活動賞」は、ここで紹介する優秀賞3団体ほか、別表のとおりです。なお、優秀賞、優良賞の表彰式を令和8年2月7日に開催するコミュニティフォーラム2026の席上で行います。

※当協議会HPで、全団体の活動内容を紹介しています。



優秀賞

安心して住める地域づくり

青島第8助けあいの会 はちすけ(藤枝市)



犬の散歩代行

青島第8助けあいの会 はちすけは、高齢者、障がい者、子育て世代の「ちょっとした困りごと」を支援するため、2020年11月に青島第8自治会（6町内会統括）で発足しました。

「町内会だけでは十分な支援が難しい」という芙蓉台町内会の要望を受け、自治会全体で立ち上がった有償ボランティア組織です。2024年度は、約70名のボランティアが登録し、利用者92世帯から合計553件の依頼に対応しました（内ゴミ出し支援は325回）。

また、ボランティア同士の親睦会を定期的開催し、町内会の枠を超えた住民のつながりを育むことで、地域全体の「安心なまちづくり」を支える力となっています。

だれもが安心して住み慣れたまちで暮らし続けられるやさしい地域づくり

向笠社会福祉協議会(磐田市)



合同敬老会「80過ぎても元気会」

向笠社会福祉協議会は、1999年から、地域住民の主体的な参画に基づいて、生活課題を協議し、その解決に取り組んでいます。特にコロナ禍以降は、自粛生活で薄れた地域交流を取り戻すため、「面白い」と感じてもらえる新たな企画を実施しています。

具体的な活動として、若者の参画を促す「Communis」や、男性高齢者向けの「レコード喫茶昭和堂」があります。また、単位自治会での開催が難しくなった敬老会を「合同敬老会“80過ぎても元気会”」として社協が企画・実施しています。これらの取り組みを通じ、世代や性別を超えた新たな交流の場を創出し、住民が互いに支え合う共生社会の実現に大きく貢献しています。

クローズアップ

創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。



牛淵公民館での反省会で食べるソバを打つ会員



3メートル近く伸びた茶の木を伐採



高根神社の横に広がるソバ畑

農村と街の住民がそばづくりで交流と地域再生

アグリろくごうそばづくりクラブ(菊川市)

発足のきっかけと歩み

菊川市六郷地域では、農村部の牛淵地区と新興住宅地の青葉台区の住民が手を組み、耕作放棄地を活用したそばづくりを通じて、地域交流と活性化に取り組んでいます。

かつては交流がなかった牛淵と青葉台でしたが、平成28年、六郷まちづくり協議会が主催した自治会役員の研修で同じグループになったことから「街部と農村部の交流や牛淵の耕作放棄地を有効活用したい」と声上がり、牛淵に市民農園が誕生。その後、利用者から「そばづくりをしてみたい」との希望が寄せられ、令和元年に「アグリろくごうそばづくりクラブ」が発足。現在は青葉台16人、牛淵11人、計27人の会員が活動しています。活動費は年会費、そば打ち体験料、助成金等で賄っています。

栽培とそば打ち体験

活動は大きく二つ。牛淵でのそば栽培と、青葉台でのそば打ち体験です。令和7年には新たに荒廃茶園をそば畑に造成。9月に種をまき、11月には120kgを収穫しました。約80kgのそば粉が完成予定です。収穫したそば粉は、毎月青葉台で開催される会員向けのそば打ち体験で消費され、農作業の成果を実感できる活動となっています。また、12月には牛淵公民館で活動反省会を開き、近所の方もご招待しそばを振舞います。

街と農村の相乗効果

この活動で最も印象的なのは、街部と農村部の交流が日常的になっていることです。街部の方は活動日以外でも自主的に畑の整備をしています。「牛淵の農家の方の働きぶりを知り手伝いたくなった。喜んでもらえ嬉しい」と街部の鈴木さんが言う。「皆の力でソバの花が咲いた時は感無量だった」と農村部の鈴木さん。村の中心にある神社横の荒廃茶園が、一面に白い花が咲くソバ畑に生まれ変わった景観は、地域の新たな魅力になり、会員の声からも交流の喜びが伝わります。街部の岩瀬さんから「農業体験

を通じて農業の尊さを学びました」と活動を通じて得られる学びも語られます。

笑顔の種まき

「この横の繋がりは災害の時にも強い力を発揮すると思います」と農村部の後藤代表。街部と農村部が喜びを分かち合いながら活動する姿は、まさに「笑顔の種まき」。人を喜ばせることが自分の喜びにつながるという理念が、会員の皆さんの活動に息づいています。

今後の展望として、現在栽培している白い花の品種に加え、「赤い花のソバも育て、紅白の花畑を楽しみたい」という夢が語られました。地域に継続的に関わり愛着を持って活動する姿は、耕作放棄地活用の好事例になりうる活動です。



左から街部の鈴木さん、岩瀬さん、農村部の鈴木さん、後藤さん

◇代表：後藤昇一さん(問合せ・0537-36-4323)
【情報提供・松村真衣】

レポート：鈴木久雄 編集委員

地域訪問記

団体の継続に着目し紹介します。

楽しいサツマイモ掘り

子どもと談笑する須藤理事長



今年は約5俵のお米を収穫



地域の宝、里山をこどもたちへ

NPO法人里山会公文名ファイブ(裾野市)

「公文名」皆さんはこの地名を読めますか?「くもみょう」と読みます。その名の由来は、平安時代の荘園を管理されていた役職名からきているそうです。2009年、裾野市公文名で発足した「NPO 法人里山会公文名ファイブ」は、須藤九十九理事長が「自然を守り、子どもの頃に遊んだ里山を再びつくりたい」という思いから活動を始めました。現在は理事6人、会員40人が「地域の宝である里山をこどもたちへ」を合言葉に、森と田んぼを拠点に活動しています。副理事長の志田さんと理事の土屋さんにお話を聞きました。

志田さんは「生まれ育った地域を大切に思い、会員と共に里山の資源を守りたい。それは義務ではなく、自分自身が楽しむことで自然とつながっていくもの」と語ります。土屋さんは、「みんなで種をまき、実った作物を共有するのはとても良い経験。普段の生活では出会わない世代との交流も楽しい」と活動の魅力を語ります。

未来へ引き継ぐ

借りている耕作放棄地に隣接する休耕田の解消や、管理のマンパワー不足といった課題はありますが、お二人からは、前向きに取り組もうとする姿勢を感じます。身体を使い、自然と向き合い、人と人が触れ合い活動する時間は、現代では貴重な体験です。里山の維持は生き物・自然・地域社会・文化・健康のすべてを豊かにする取り組みです。それらをもたらす里山の価値にもっと目を向けてもらえるよう、ミッション達成のためにアイデアを重ね、里山という地域の宝を未来へ引き継いでいくことを期待しています。

※一緒に楽しく活動してみませんか? 会員募集中です!

私たちのミッション

団体が掲げる最終目標は、「里山を学び、つかい・まもり、つたえることで、生物多様性や持続可能な暮らしを未来へ引き継ぐこと」。この理念を実現するため、年間活動計画には里山を好きになってもらう様々な体験や学びが組み込まれています。

農地保全活動では、耕作放棄地の解消を目指し、約2反の農地を借り、農薬や化学肥料を使わない方法で稲作や野菜づくりを実施。収穫した米は「収穫祭」と題したイベントで食べるほか、市内酒店が手掛ける焼酎づくりに原料として提供。また、畑で栽培した農作物でピザ作りや藍のたき染め体験、コミュニティ祭での販売も行います。

森林保全活動では、管理する森で生物探しやネイチャーゲームを楽しむ「森林オリエンテーリング」を開催。また、子ども広場の整備をはじめとした保全活動に加え、「さとやま自然楽校」と題した環境学習も実施しています。森や田んぼ、川に入り、自然観察や生き物調べを通じて、虫が苦手だった子どもが触れるようになるなど、自然への理解と関心を深めるきっかけとなっています。

活動がもたらす喜び

この活動は、里山に確かな変化をもたらしています。田んぼを始めて2年目にヤゴを見つけ、前年に田んぼが蘇ったことで生まれた命に、里山を維持することの意義深さを実感しています。



HP



左から志田さん、土屋さん

◇理事長: 須藤九十九さん
(問合せ・kumomyo.5@gmail.com)
【情報提供・志田忠弘】

レポート: 鈴木千春 編集委員

白須賀地区のよさを生かしながら、人のつながりを広げていく地域づくり

白須賀地区自治会連合会(湖西市)



サマーフェスティバル白須賀

6つの自治会からなる白須賀地区自治会連合会は、近年、自治会への加入が減少する中で、必要性を再認識いただくため、組織と活動の見直しを進めています。

【組織運営の効率化】 役員の負担軽減策として、定例会や役員会の回数を削減し、レジメ作成により会議時間の短縮を図りました。

【魅力的なイベントの創出】 大勢の地区民が参加したくなるイベントを企画。実行委員の負担軽減のため、少ない人数で準備できるよう、手順や役割を明確化した資料を作成。

また、地域発展には全住民の力が必要と考え、自治会連合会が中心となり、さまざまな地域団体に呼びかけ「シラスカ協議会」を発足。多様な世代や考え方を生かした取り組みを推進しています。

優良賞

- 御殿場市 中山下区地域福祉推進委員会
- 裾野市 ふれあい塾本村下
- 沼津市 沼津市第五地区コミュニティ推進委員会
- 静岡市 西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会
- 島田市 牧之原公園マルシェ実行委員会
- 浜松市 (一社) MIYAKODA

奨励賞

- 裾野市 傾聴ボランティアほっとスペース♡みみい
- 函南町 函南間宮天池を守る会
- 静岡市 清水おやこ劇場
- 静岡市 わっしょい小坂
- 磐田市 竜洋住みよいまちづくり協議会

審査総評 (望月誠郎 審査委員長)

本年度のコミュニティ活動賞には、9市1町から14団体の応募があり、厳正な審査の結果、優秀賞3団体、優良賞6団体、奨励賞5団体が決定しました。審査は、各審査委員が応募資料の事前評価と審査会での意見交換を経て慎重に行われ、「いずれの活動もレベルが高く、評価に差を付けるのが難しい」という声が多く聞かれました。

本年度は、安全・安心で元気な地域コミュニティ構築に向けた自治会、防災、地域活性化などの活動を新発想で再構築して取り組む団体からの応募が目立ちました。また、女性をリーダーとして活躍されている活動団体が多く見られた点も大きな特徴でした。

審査においては、「住民の困りごとを助け合う仕組みを構築し、高齢者の見守りにもつなげている団体」「現在の住民課題を聞き、性別・年代を超えて楽しく参加できる企画や廃校利用などに取り組む団体」「自治会活動の役員負担軽減に向けた改革や、住民が「地域に住んで良かった」と思える地域づくりへの取り組みの団体」などが、審査委員の高い評価を得ました。

このほか、都市部の防災福祉、コミュニティカフェ、子育てサロン、公園の活性化に取り組む団体も評価を受けました。さらに、農業、商業、観光などジャンルを超えて組織された団体には、新しいコミュニティづくりの担い手としての可能性に大きな期待が寄せられました。

一方、審査の過程では、活動内容自体は高く評価できても、審査基準である「活動範囲が中学校区を対象とした地域住民や自治会等との連携」について、応募資料での説明が不足していたために高い評価が得られなかったケースも見受けられました。

次年度以後も、県下各地の団体が、地域課題の解決に向け、知恵と工夫を凝らし、これまでにない新たなチャレンジ精神をもって積極的に活動に取り組みられ、本賞に多数応募されることを期待しております。(掲載にあたり一部省略しました。)

沼津市

中学生が地域で活躍する場をつくる

中石田ジュニアリーダーズ
クラブ(NJC)



大いに盛り上がったシルエットクイズ

▶去る10月12日、大岡地区にある神明神社で中石田自治会が主催する秋祭りが開催され、今年から中学生7人と地域の大人3人からなる「中石田ジュニアリーダーズクラブ(NJC)」がお手伝いに加わった。
▶元々中学校PTA組織が地域行事のお手伝いをしていたが、時代が変わり難しくなっていた。以前に子ども会などで自治会に関わりのあった奥村さんが、事情を知り、回覧板で中学生に呼びかけると、やる気ある7人から応募があった。地域活動の貢献の場、仲間づくりの場を目指し令和7年4月に発足。月1回の定例会や子ども会のお手伝い等の活動をしている。
▶祭りでは、受付業務と小学生向けの余興を自治会から依頼され、クイズ大会を実施。「小学生の圧が凄かった」「緊張したけど楽しかった」と中学生たち。「大人のメンバーが管理側に回らぬよう、仲間という意識で参加しています」と奥村代表。今後も楽しみながら地域に貢献していき、地域の戦力になれるよう活動の幅を広げていく。
◇代表:奥村好哉さん(問合せ・080-6592-8610)

【情報提供・木村優子】

静岡市駿河区

親睦と賑わい創生で地域振興に貢献

わっしょい小坂

▶令和6年3月、駿河区小坂地区(約277世帯)の親睦と賑わいの創生、長田南学区の地域振興に貢献を目標に「わっしょい小坂」が発足した。代表の小野田さんが地元の仲間を声を掛け集まった16人で、昨年23年ぶりの盆踊りを開催した。

▶月1回の定例会では、自由に意見を出し合い、各々が出来ることを積極的に採用し、行動に移すことを心がけている。この中で盆踊り復活の声が上がり実施することになった。大勢の子どもが参加し、帰省中の若い世代のプチ同窓会の場になるなど賑わいを創生できた。大いに賑わったが、盆踊りに掛かる費用は協賛金に頼らざるを得ない状況にあり課題でもある。

▶現在、「盆踊り」「年末朝市」「小坂川河津桜を愛でる会」の3つの活動のほか、地域の草刈りや他団体への協力も行っている。わっしょいの賛同者を増やすアイデアを皆で考えながら、楽しく活動を継続していく。

※「小坂川河津桜を愛でる会」を2月に開催。インスタチェックしてね!

◇代表:小野田由美子さん(問合せ・onodadesu227@gmail.com)

【情報提供・近藤 武】



小坂川河津桜を愛でる会での記念写真

島田市

多世代交流と健康づくり「リアル野球盤」

リアル野球盤協会



ホームランを狙って打ち返す参加者

▶代表の鈴木さんが発案した「リアル野球盤」は、野球盤の楽しさと実際の運動を融合させ、障がい者も幼児も高齢者も同じ試合に参加可能なユニバーサルスポーツである。2010年協会を発足し、賛同してくれた仲間6人と共に広めている。

▶2015年から島田市の金谷地区を主会場にリアル野球盤大会を開催。第9回目となる今年は16チーム160人が参加した。できるだけ多くの団体に協力していただくのが理想と励んだ結果、年を追うごとに協力団体が増えて地元に着したイベントになった。

▶ルールは単純で用具も安全性に配慮。高齢者施設や保育園、自治会イベントでの体験等を通じ、参加者の笑顔と健康、そして世代を超えた新たな「地域のつながり」を育てている。杖を忘れるほど夢中になるお年寄りや、親に付き添われて打席に立った3歳の子が、次は1人で打席に立ちホームランを打って喜ぶ姿がその魅力を物語っている。

※道具のレンタル(有料)しています。

◇会長:鈴木久雄さん(問合せ・090-1281-4578)

【情報提供・村松遼太郎】

磐田市

「歌声喫茶」で交流する機会を作ろう

大原新町歌声喫茶



フルーツとベースの音色に合わせて歌います

▶磐田駅から車で南に約8分。204世帯が住む住宅団地の大原新町がある。2013年、当時自治会長だった平木さんが引きこもりがちな高齢者が交流する機会を作ろうと歌声喫茶を試みた。1年間の運営を経て評判が良ければ継続する予定だったが、気が付けば今年で12年目を迎えた。

▶毎月第4日曜日に集会所で「歌声喫茶」を開催。有志のスタッフ4人で運営をしており、回覧板やポスターを通じて周知活動を行っている。多い時には30人近くが参加。特徴的なのが、リクエストに応じベースとフルートの伴奏で様々な曲を歌うこと。リクエストに対応できない時は、次回までに練習し対応しているという。

▶自治会と連携し、行事が重ならないよう配慮。当初は高齢者を対象としていたが、団塊世代の参加者も増え歌を通じた良い交流の場となっている。

今後も、高齢者だけでなく新しく入居してきた家族も含め、お互いを知る機会となる「歌声喫茶」であり続けたい。

◇代表:平木敏雄さん(問合せ・0538-554-3110)

【情報提供・安部詠司】

森町

お茶の実で生まれた交流

南戸綿TMO
プロジェクトチーム

▶2019年に発足した南戸綿TMOは「荒廃茶園の整備と活用、地域住民の交流と活性化」を目的に活動をしている団体である。代表の村松さんが「荒廃茶園を活用できないか」と考えていた時に茶の実油の存在を知り、近所の人たちに呼びかけ、6人で会を結成した。

▶県の補助金を受け、荒廃茶園(9000㎡)とその周辺農道の草刈り整備と茶の実の収穫を行っている。整備したことでタケノコがたくさん出るようになり、町内会や子ども会に呼びかけてタケノコ掘りや竹製けん玉づくりなどのワークショップも開催。今年のクリスマス会には、竹灯籠を制作しようと考えている。

▶これまでは、情報発信はせず地域の中で活動してきたが、今年は森町出身で東京在住の方の企画により、10月に初の収穫体験イベントを実施。東京や石川、地元の高校生が参加し10キロ収穫できた。外部の人の力で更なる広がりを喜んでいる。(茶の実の買取価格は1キロ700円です)

◇代表:村松英男さん(問合せ・0538-85-4368) 【情報提供・山田勝恵】



10月の茶の実収穫イベントで若者と交流

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)

No.	市町	活動名	主催者	趣旨・目的	情報通信員
1	下田市	下田市立稲穂小学校の「アサギマダラのまち」	梓の丘にアサギマダラをよぼうプロジェクト(アサ呼ぼプロ)	学校にアサギマダラを呼び込み、子どもたちの成長と地域住民との触れ合い	井出秀成
2	伊東市	楽しく美しいハーモニーをいつまでも!	レ・ソルシエール(魔女たち)	歌うことが生きがい! いつまでも歌い続けていきたい!	佐藤みつ子
3	沼津市	地域の居場所づくりを支え、盛り上げる	愛らぶ貯筋の会	イスに座ってできる体操「ちよっくら体操」をメインに毎月開催	高村 光
4	御殿場市	「きよてんば」ボードゲームでつながりのきっかけを	ごてんばボードゲーム遊戯協会	ボードゲームで地域の交流の推進や持続可能な活動の創出を!	勝又長生
5	掛川市	写真展開催で地域の活性化	三井シニアクラブ写真サークル[写遊会]	メンバーが楽しく活動し、写真展を開催し地域の方に楽しんでもらう	安藤ミエ
6	湖西市	学校ビオトープを守り生かす地域活動	夢くらぶ21	地域づくりを通して生きがいを見つけ、豊かな地域をつくる	片山愛司
7	牧之原市	ふくしマンは子どもに福祉を伝える	憩の家みち	子どもたちに福祉の大切さを伝える活動	外部提供 石津道弘